

## ストレージセンサー (Windows10 バージョン 1703)

ストレージセンサーという「ディスクのクリーンアップ」の一部を自動的に行う機能が Creators Update より新機能として付けられています。

「ディスクのクリーンアップ」のうち「ごみ箱に入れて 1 か月を過ぎたファイル」と「マイアプリで使用されていない一時ファイル」を自動削除する機能です。

「マイアプリ」とは、PC にインストールした UWP(ユニバーサル Windows プラットフォーム)アプリケーションのことです。

ノートパソコンでもディスク容量が 500GB とか 1TB が当たり前になってきて、「ごみ箱」に削除したファイルが溜まってても、空き容量がまだあるからと気になさらない方も増えています。

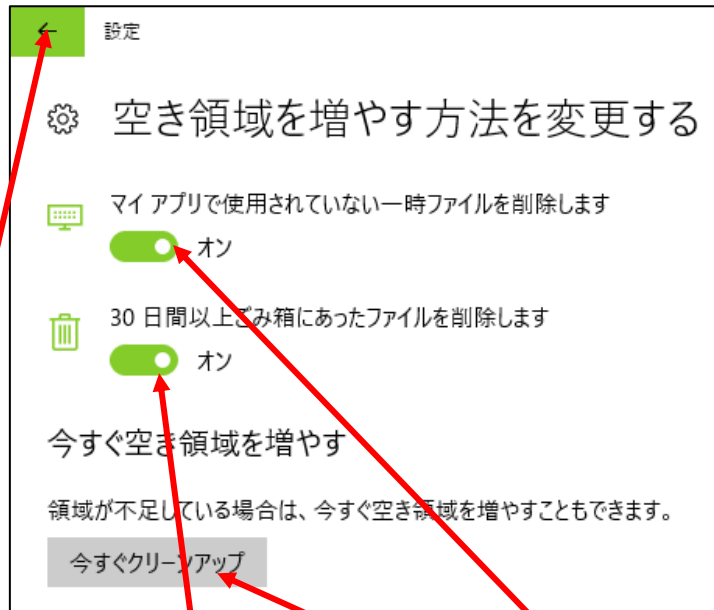
しかし、「ごみ」は「ごみ」いつかは処分することで何らかの悪さをしないようにすることが必要ではないでしょうか。

「ストレージセンサー」を使用可能にする

1. 「設定」⇒「システム」⇒「ストレージ」



2. 「ストレージセンサー」の「空き領域を増やす方法を変更する」をクリックする。



3. 「マイアプリで使用されていない一時ファイルを削除します」と「30 日間以上ごみ箱にあったファイルを削除します」のそれぞれ下にあるスイッチを「オン」または「オフ」にする。
4. 3. で指定した対象を今すぐに削除するときは「今すぐクリーンアップ」のボタンをクリックする。
5. 「戻る」をクリックして「ストレージ」の画面に戻る。
6. 「ストレージ」の画面で「ストレージセンサー」の下にあるスイッチを「オン」にする。

なお、Windows10 の次期バージョンである 1709 では、削除対象に一定期間を過ぎたダウンロードファイルや古い Windows のシステムファイルが増えるようです。